

まるごと!西日本

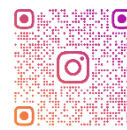
2025年9月号

発行: (公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部

福岡市早良区小笠木 678-1

TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322

E-mail: oisca-ntc@oisca.org 検索 **オイスカ西日本**



@OISCA_NTC

Instagram



facebook

日頃の様子を更新中!是非チェックお願いします!

集まれ地球体験村&サマーナイトフェスティバル

7月25日(金)~26日(土)にかけて、毎年夏休みのシーズンに実施している「集まれ地球体験村」がセンターにて開催されました。

今年の参加者は、リピーターも数多く参加していたで、総勢35名(リーダー6名)での開催となりました。

今年も例年通りの猛暑日が続くなかでの開催となりましたが、子ども達は元気よく1日目の国際交流から、がめの葉もちづくり、木製のスプーンづくりな



どの体験を行い、夕方には4カ国の料理づくりを行って、それを夕食としていただきました。

2日目は、朝から朝食づくり体験から収穫体験、川遊びと盛りだくさんの内容でプログラムを体験し、夕方にはサマーナイトフェスティバルのステージで、2日間みっちり練習した研修生の国のダンスを、上手に披露することができました。



2日間という短い時間でしたが、子ども達どうしたくさん友達も出来たようで、楽しい夏の思い出を作ることが出来ました。(豊田)



博多祇園山笠追い山ならし見学

7月12日(土) 博多祇園山笠追い山笠追い山ならしに福岡リバティライオンズクラブ様よりご招待をいただきました。

躍動感溢れる博多のお祭りを櫛田神社境内棧敷席で見学して研修生は櫛田入りする昇き山笠に思わず声を上げカメラに収めるなど楽しく追い山ならし見学させていただきました。(満川)



地引網参加

8月19日(火) ライオンズクラブ合同地曳網が糸島市の二丈町海岸で行われ海外の研修生参加をしました。遠浅の海岸の沖合に網を仕掛け魚群を得る伝統的な漁法として知られ、研修生は参加者の皆さんと一緒に網を引き上げたたくさんの魚がとれました。昼食は海水浴場の海の家でBBQ 交流を通して親睦を深め研修生のダンスを披露して会場を盛り上げるなど、楽しい地曳網イベントになりました。

ご招待をいただきました福岡リバイライオンズクラブの皆様ありがとうございました。(満川)



MIZUHO paypay ドーム野球観戦

8月15日(金) オイスカ会員の吉笑家様より海外研修生並びに職員25名をプロ野球ナイトゲームにご招待をいただきました。当日の試合は対千葉ロッテマリーンズの試合で観客席からの迫力ある応援の熱気の中、スピード感ある試合運びに思わず声を上げシャッターを切るなどして応援をしました。研修生の中には日本のプロ野球の人気



中央 吉笑家吉岡社長様

の高さに興味も沸きベースボールの試合観戦を楽しみました。ご招待をいただきました吉笑家さんは試合期間中ドーム3階デッキ上のキッチンカーで「博多ホルチャン国産牛ホルモン焼き・チャンポン麺炒め」などを販売されていますのでお立ち寄り下さい。(満川)

原中央中学校交流会



7月10日(木)、原中央中学校の2年生の全生徒を対象とした交流会が実施されました。2学年が6クラスあるということで、こちらから6名の研修生が派遣され、各クラスに分かれて交流会が行われました。内容としては、学生の方からパワーポイントを使用して中学校校区内の有名な飲食店や農業の様子などについてユーモアを交えて解りやすく紹介をしていただき、その後に研修生の方から国の紹介をさせていただきました。

2時限という短い時間でしたがお互いに会話も弾み、いい思い出に残る交流会となりました。(豊田)

早良高校職場体験

7月9日(水)と11日(金)の2回に分けて、早良高校の2年生を対象とした職場体験の受入れを実施しました。両日共に5名ずつの学生が体験に来てくれて、収穫販売の準備やブルーベリーの収穫作業、そして研修生との交流会などを通して研修生とも交流を深めることが出来ました。学生の皆さんも積極的に作業に参加してくれたおかげで、農場の方も大変助かりました。(豊田)



脇山サロン参加

8月25日(月)、脇山公民館のサークル活動である「脇山サロン」が今年もセンターにて開催されました。脇山在住の高齢者の方々をはじめ、ボランティアの方も含めて20名程度の方が参加し、研修生の方から国の紹介などをして楽しい時間を過ごしました。また、それ以外にも「うちわ」にシールをはる活動や研修生からダンスの披露などもして盛り上がりました。(豊田)



脇山校区育み会「ペットボトルロケットづくり」体験参加



8月30日(土)、脇山校区育み会の主催で、脇山の子ども達を対象とした「ペットボトルロケットづくり」体験が研修センターにて開催されました。当日は30名程の子ども達と自治協議会、脇小 PTA の皆さんをはじめとして、数多くのボランティアの皆さんが参加して盛大に開催されました。研修生も一緒に参加させていただいて、子ども達と一緒にロケットづくりを行いました。ロケットづくりが終えた後にはみんなでグラウンドに移動して、実際にロケットを発射しましたが、中には80m 近くまで飛ばす参加者もいて、発射大会も大いに盛り上がりました。子ども達にとっては夏休み最後の良き思い出づくりになったと思います。(豊田)

つみき広場参加

8月18日(月) 福岡市博多区にある三筑小学校放課後児童クラブの子供たちを対象につみき広場を開催しました。初めに環境紙芝居を行い、その後間伐材を使って子どもたちの情操教育の一環として、自由な発想を生かし色々な物に見立てて、つみ木を積み上げながら楽しく遊びました。(満川)



福岡県庁・福岡市役所 農産物販売会



毎年恒例の県庁及び市役所でのオイスカ農産物の販売会を行いました。

7月17日に市役所前広場にて、12時開始の予定が通行人の方も多く立ち寄り早速販売開始。12時には市役所館内放送で研修生のエンジェルさんが職員の皆さんに呼びかけ、大行列ができました。2時までにはほぼ完売！23日～24日は2日間にかけて県庁ロビーにて販売会を実施。多くの方に立ち寄っていただき、こちらも見事完売。オイスカの

農産物大人気でした。双方とも研修生も立会い、お客様の反応がとてもよい勉強になったようです。

秋にも行います。皆様のお越しをお待ちしています。(廣瀬)



日本のお菓子作りチャレンジ

8月28日センターの食堂で、女性研修生(アイシャ、タリニー、エンジェル、アユミ、ファズリナ)5人で日本のお菓子作りにチャレンジしました。メニューは「天の川ようかん」「カステラ」。

5人そろってお菓子を作るのは初めての体験ですが、家政科研修生のファズリナがリーダー的に？ワイワイしゃべりながら&スマホで映像写しながらも、なかなか手際よくできました。「日本のお菓子は特に見た目が大事ですよ、見た目が良いとより美味しくなります！」のアドバイスに、2チームに分かれて「どうしたら天の川に見える？夜空でなく海みたいになった～(笑)」と試行錯誤、カステラもふわふわの出来栄にみんな満足でした。最後はスタッフや他の研修生達に「私たちが作りました、どうぞ！」と配り「おもてなし」。またお菓子作りで日本体験しましょう。(廣瀬紀子)



佐賀県推協マレーシア植林ツアー



7月27日(日)～8月2日(土)(5泊7日)にかけて、オイスカ佐賀県推進協議会の主催で開催された、第27回オイスカ佐賀ラググリーンの翼、マレーシア・サバ州ツアーに参加してきました。

今回のツアー参加者は総勢13名で、オイスカ佐賀県推進協議会の幹事の方をはじめとして、オイスカ佐賀県議会議員連盟の定松先生、オイスカ会員の皆様に参加していただき、非常に内容が充実した楽しいツアーとなりました。

今回のツアーの目玉としましては、マレーシア・サバ州内で活躍しているOB・OG研修生の活動現場の視察

(3か所)と、オイスカ・テノム研修センターの視察、またそこで活躍しているオイスカOB・OG研修生との交流など、日本で研修を受けて帰国した研修生たちが、現在どのような形で活躍しているのかを実感できる内容となりました。

特に印象的だったところが、サバ州のラナウという町のキリル村で活躍しているOBのプロジェクト(イグナティウス氏)の訪問で、彼は長年にわたり村長として村の発展に貢献し、本人も淡水魚の養殖からレストランの経営、油やしの栽培など様々な事業を手掛けている事業家でした。

今回は短時間の滞在でしたが、山間部での植林活動や、かれの経営するレストランでの懇親会など、いろいろとお話も聞くことが出来て大変有意義でした。

また、オイスカテノム研修センターの訪問では、研修生、スタッフ一同が大歓迎で一行を迎えていただき、美味しい料理や果物、そして研修生のダンスや歌の披露など、楽しいひと時を一緒に過ごすことが出来ました。

そして、ツアー参加者(定松先生、中西幹事)からも日本の歌を披露して大いに盛り上がりしました。

1週間という滞在期間でしたが、たくさんのOB、OG研修生と触れ合う事が出来て、オイスカの活動の意義も十分に感じていただけたツアーとなりました。(豊田)



OB紹介 ～マレーシア～

今回紹介しますOB・OG研修生は、7月に実施されたオイスカ佐賀県推進協議会のマレーシアツアーで訪問した、オイスカテノム研修センターでスタッフとして頑張っている5名の西日本のOB・OGを紹介します。

■ジョスリ(2013～2014年)

センターで野菜栽培コースのスタッフ責任者で農場の運営、研修全般の調整をしている。

■アズミン(2022～2023年)

センターで野菜栽培コースのスタッフとして研修生に指導を行っている。

■キチュ(2023～2024年)

センターで稲作コースのスタッフとして研修生に指導を行っている。

■フィナ(2020～2021年)

センターで食品加工のスタッフとして研修生に指導を行っている。

■ケイティ(2019～2020年)

昨年まで野菜コースのスタッフとして活躍していたが、現在はセンターの事務所の作業を担当し、センターの運営全般に貢献している。

その他に、中部、四国研修センターのOB・OG共に多くの人材がセンターの研修業務に貢献しています。



ジョスリ、アズミン、キチュ、フィナ、ケイティ

オイスカふれあいの翼 2025 インドネシアツアー



参加者は高校生から 80 近い方も含め、海外でのオイスカ活動現場をはじめ、多くの訪日研修生 OB 達とふれあい、非常に内容の濃いツアーでした。

特に、子どもの森参加校を 3 校訪問し、学校全体で大歓迎を受け、子どもたちと記念植樹も行いました。来年の夏もツアーを予定しています。ぜひご参加をお待ちしています。（廣瀬）

8 月 19 日から 24 日にかけて、参加者 12 名でインドネシア・中部ジャワに訪問しました。

西日本研修センターでは初めてのインドネシアツアーで、中部ジャワのカランガニアル県にある、オイスカランガニアル研修センターを中心に、子どもの森計画参加校を含め、ソロ、ジョクジャカルタに行きました。



農業研修風景

今年の夏は、「今日も暑いですね」というのもいやになるぐらい猛暑日が続きました。

思い起こすと福岡の6月の梅雨の時期は2週間ほどしっかりと大雨が降って、その後7月に入って早々に梅雨が明けました。

大雨後の急な日照り続きで、小さなハウス内のシャインマスカットの葉っぱがやけて、果実に蓄えられていた水分が急激に蒸散の作用で奪われてしまい、半分近くが枯れてしまいました。

「ああ今年のシャインはだめになった」とあきらめていたのですが、実は生き残った果実は通常通りに成長し、成熟した果実は現在美味しそうに棚からぶらさがっています。



実際にあきらめていたので何の対策もしないでいたのですが、うちのシャインは今までの猛暑に負けずに、しっかりと育ってくれました。

結局のところ、今回の問題は猛暑が問題だったのではなく、急激に季節が変化し、その変化に対応できずに枯れてしまったということなのです。

ここ数年は春と秋が短くなっている分、季節の変化が急激に訪れることが頻発しているので、季節の変わり目の健康管理には十分に気を付けましょう。（豊田）



体験農園だより

9月6日(土)に令和7年度の秋冬作がスタートしました。

今年の春夏作の反省としましては、例年期待の大きいトマトやミニトマトが、2週間降り続いた土砂降りとその後の猛暑でトマトの根がやられてしまい、7月の中旬にはおおよそ枯れてしまいました。

この状況は明らかにこちら運営側のミスでして、トマトを植える場所の選別を誤ったからです。

体験農園を開始してから 10 年以上が経過しますが、未だにこのような失敗をしてしまうことは恥ずかしい限りですが、このような失敗を重ねながら、少しでも素晴らしい体験農園にしていきたいと思えます。

ちなみにトマト以外の野菜たちはまずまずの収穫を得ることが出来ました。

これからの秋冬作もがんばっていきましょう。（豊田）

福岡県議会国際化・多文化共生社会調査特別委員会のご一行研修センター訪問

8月21日(木)、福岡県議会 国際化・多文化共生社会調査特別委員会の視察調査として、委員長の新井 富美子県議をはじめ、総勢16名の県議の先生方が研修センターを訪問していただきました。

1時間程度の短い時間でしたが、海外研修生の紹介や帰国後の抱負などについて発表し、その他センター館内の見学や研修生との意見交換なども行い、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

福岡県議会議員の先生方には、オイスカ国際活動促進議員連盟として毎年オイスカ活動に対

し多大なご支援をいただいているので、今回研修センターを訪問していただき、研修生たちの元気な様子も見ていただくことができとても良かったです。(豊田)



研修センター会議の開催

7月15日(火)～16日(水)にかけて、毎年持ち回りで開催している研修センター会議が当研修センターで開催されました。会議の主な内容が農場の運営等に時間を使うため、愛知県の中部センター、香川県の四国センター、そして本部、西日本センターの代表者が集まって会議が行われました。主な議題として農業研修の運営状況と課題、今後の新たな取り組みについて確認を行い、その他新たな人材の育成や帰国したOB、OGとの連携強化などについて意見交換を行い、今後のオイスカが進める人材育成の更なる充実につながるよい機会となりました。(豊田)

鹿児島推進協議会総会

7月7日(月)オイスカ活動鹿児島県推進協議会の定時総会がホテルリブマックス BUDGET 鹿児島で行われました。総会では令和6年度事業報告及び収支決算報告並びに7年度計画について審議をいただきました。総会後の会員さんとの交流会では研修生の各国のダンスの披露するなど和やかな雰囲気の中での交流になりました。今年度も農産物宅配事業のクラウドファンディングのオイスカ野菜セットを全会員さんへお届けされます。また途中人吉市の織月酒造に立ち寄りお酒の製造現場の工場を見学させていただきました。

皆様ありがとうございました。(満川)



中央吉田会長



暑気払い 2025

8月4日(月)、毎年恒例の暑気払いを市内のビアガーデンで開催をしました。

当日は会員企業10社の社員の方をはじめ研修センター職員総勢40名ほど参加して行われ、これから夏本番に向け元気に暑さを乗り切るため皆で楽しく交流をしました。ご参加いただきました皆様ありがとうございました。(満川)



2025 年日本語のようす

7 月に受験した日本語能力試験の結果がネットで公開されました。

2025 年度の研修生 12 名のうち 10 名が受験をして、8 名が N5 レベル、1 名が N4 レベルに合格することができました。今年は、例年 7 月に受験をしない B クラスの研修生の受験希望が多く、教科書はあまり勉強できていない中、合格者が多かったことに驚きました。日本語での日常生活や、農業実習、地域の人との交流などが大きな力になったのだと思います。



12 月には第 2 回日本語能力試験が行われます。引き続き、1 週間に 1 回半日の日本語クラスで、勉強を続けています。

がんばれ！研修生！（立石考子）

技能実習生：技能講習

7 月は、技能講習が立て続けました。主に鉄鋼・建築関係の職種で、昨年末から今年新規配属された実習生で、実習（作業）において受講が必要な実習先の実習生が対象です。

技能講習に参加するにあたって、一番の壁は「言葉（言語）」です。

高度な知識・専門用語が飛び交う内容を実習生に伝えるために、オイスカ STAFF の中垣豊さん・アダさん。

オイスカ西日本研修生 OB で現在、福岡在住のナデアックさん。（株）鶴田工業の実習生のザキさん・アリフさんという「THE・TEAM・OISCA！」の強力通訳サポートがあり、全員、技能講習最後の修了試験にも合格し、修了証を貰うことが出来ました。今後、スムーズかつ充実した実習が出来る様に私たちもサポートを続けます。



参加した実習生の皆さん！ これからも頑張ってください！

（浦上）

7/1～3 ガス溶接の講習に（株）鶴田工業から 2 名（株）ファブコン九州から 2 名

7/5～7 アーク溶接の講習に（株）鶴田工業から 2 名（株）ファブコン九州から 5 名

7/12～14 クレーン玉掛け講習に（株）鶴田工業から 2 名（株）平和送電から 2 名

7/26・27 クレーン特別教育に（株）鶴田工業から 2 名（株）ファブコン九州から 2 名

技能実習生 技能検定

酪農の「農業評価試験」、工業関係では「技能検定試験」が以下の様に執り行われました。

呼び名（名称）は違いますが、初級と基礎級は、学科・実技の両方を合格しないと 2 年目以降の実習を続けることが出来ず、帰国の途となります。専門級においては 3 年実習修了後、2 年延長を希望する場合、最低でも実技試験に合格することが条件となります。いずれにおいても、再試験は 1 回きりです！



今回、オークマの随時試験 3 級の学科再試験受験者は、本来なら実技試験合格しているので 2 年延長するには、十分条件を満たしていたのですが「実技も学科も両方合格したいです！」との意気込みがあつ

ての再試験でした。以下の受験者、全員合格！ これからの強みになると思います。

7/17 ディア-さん：藤野牧場（酪農：初級）

8/19 イタさん：藤野牧場（酪農：専門級）

8/8 スピャンディさん、クスマさん、アルディさん（基礎級）

ハムザさん、スディさん・サラムさん（随時 3 級 学科再試験）

みなさん！ おめでとうございます！（浦上）

9月の予定

- 4日 大阪万博見学
- 6日 早良高校体育祭
- 20日 こらぼら稲刈り
- 20日 生松台ふれあい市
- 27日 センター稲刈り

ご協力ありがとうございます

【7月・8月の寄贈者】(敬称略)

三宅清風 進藤徳博 脇山校区自治協議会 中武喜久代
ハートフィールドさかもと、日本エコシステム(株) R.K.B
第一交通 加藤順一郎 議会事務局 早良高校

【7月・8月の新入会員】(敬称略)

(株)玄海砒油 藤川克己 吉田温

会員様ご紹介 ～熊本銀行～

熊本銀行は、昭和初期に熊本に設立された2つの無尽会社、熊本無尽、肥後無尽を起源とし、何度かの社名変更、組織変更を経て2007年4月にふくおかフィナンシャルグループ(以下、FFG)の一員となりました。FFGグループ行である福岡銀行、十八親和銀行、福岡中央銀行、みんなの銀行と共に、弊行は熊本県内を中心に高度かつ多様な金融サービスを提供しております。

FFGでは2025年4月より新しい理念体系をスタートさせました。

これまで私たちが大切にしてきたブランドスローガン「あなたのいちばんに。」を“価値観”として再定義し、“FFGの存在意義”を「一歩先を行く発想で、地域に真のゆたかさを。」として新たに決めました。

地元熊本県におけるゆたかな地域社会の実現に向けて、弊行の強みであるヒューマンタッチな対応とFFGの先進的なデジタルサービスをミックスさせることで、お客さまそれぞれのニーズに即した最適なソリューションの提供に努めてまいります。(熊本推進協議会)



福岡リバティライオンズクラブ支援金贈呈

7月23日(水)福岡リバティライオンズクラブ様より心温まるご寄付をいただきました。御クラブは長年にわたり海外研修生の人材育成活動にご支援をいただき、9月実施予定の大阪・関西万博2025の研修旅行費用に充てさせていただきます。ご支援誠にありがとうございました。(満川)



西日本研修センター新人スタッフ紹介 ★大坪 國明★

福岡県大野城市出身、静岡県中野学園オイスカ高等学校、三重県皇学館大学文学部神道学科卒。
『和を以て貴しとなす』『臥薪嘗胆』を座右の銘としています。
神職、コピーライター、塾運営、コールセンターSV等
異色の経歴も武器として活用できるように、新たなオイスカでの生活も和やかに、また自身に厳しく取り組んでまいります。
只今ケーナや竜笛などの民族楽器を練習中です。



★大坪お父さんは長年食堂で研修生を支えてくれた方、大坪お母さんは今も現役でセンターのお母さんです！
今度は息子さんが技能メインで頑張ってくれるでしょう。
よろしくお願いします。